

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	社会科学	履修	必履修
担当講師	三上 博久		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義、演習
単位時間数	72 単位時間		
授業計画	4月	政治：日本国憲法、選挙制度	
	5月	政治：地方自治、国際政治 経済：企業と市場、金融、財政	
	6月	経済：国際経済、労働問題 社会：人間と文化	
	7月	問題演習	
	8月	問題演習	
	9月	問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	政治・経済・社会分野の基本的事項を学習し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	政治・経済・社会分野の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	法学	履修	必履修
担当講師	三上 博久		
担当講師の 実務経験の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義、演習
単位時間数	36		単位時間
授業計画	4月	法学概論	
	5月	基本的人権	
	6月	国会、内閣、裁判所、その他	
	7月	問題演習	
	8月	問題演習	
	9月	問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	社会科学における法学および日本国憲法の知識を発展学習し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	法学および日本国憲法の発展知識の理解と定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準] 100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	経済学	履修	必履修
担当講師	三上 博久		
担当講師の 実務経験の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義、演習
単位時間数	30 単位時間		
授業計画	4月	市場の理論、家計の行動	
	5月	企業の行動、国民経済	
	6月	財政政策、金融政策	
	7月	問題演習	
	8月	問題演習	
	9月	問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	社会科学における経済学の知識を発展学習し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	経済学の発展知識の理解と定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	人文科学Ⅰ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	田村 芳昭		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	136 (Ⅰ:82、Ⅱ:54)		単位時間
授業計画	4月	世界史:古代文明、中世ヨーロッパ、絶対主義	
	5月	世界史:市民革命、二つの大戦 日本史:古代・上代、中世社会	
	6月	日本史:江戸時代、明治・大正時代、二つの大戦	
	7月	地理:地形、気候、農牧業、工業、地誌 問題演習	
	8月	問題演習	
	9月	問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	世界史・日本史・地理分野の基本的事項を学習し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	世界史・日本史・地理分野の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	自然科学Ⅰ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	三浦 貴之		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	110 (Ⅰ:62、Ⅱ:48)		単位時間
授業計画	4月	生物:細胞、同化と異化、調整と反応	
	5月	数学:方程式、関数、不等式、三角比	
	6月	化学:物質、気体、酸と塩基、酸化・還元、化学変化	
	7月	物理:速度と距離、力、エネルギー、波、電気	
	8月	地学:地球の構造、天文、気象 問題演習	
	9月	問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	生物・数学・化学・物理・地学の基本的事項を学習し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	生物・数学・化学・物理・数学の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	論理推論	履修	必履修
担当講師	山蔭 さやか		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	88		単位時間
授業計画	4月	論理命題、集合、虫食算	
	5月	魔法陣、暗号、暦、類推、方位・位置	
	6月	順序・比較・計算、試合と勝敗、手順問題	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	公務員試験特有の試験科目である課題処理について、論理的思考力と共にその解法を学ぶ。	
授業目標	論理的思考力のトレーニングと解法の理解を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	論理推論演習	履修	必履修
担当講師	山蔭 さやか		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	60		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月	基本問題演習	
	8月	応用問題演習	
	9月	発展問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	公務員試験特有の試験科目である課題処理について、問題演習を通じて論理的思考力および解法の定着を図る。	
授業目標	論理的思考力と解法の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準] 100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	数理推論	履修	必履修
担当講師	山蔭 さやか		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	112		単位時間
授業計画	4月	時間・距離・速さ、時計算、仕事算	
	5月	比・割合、濃度、測量、平均、年齢算	
	6月	数、順列・組合せ・確率、図形	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	公務員試験特有の試験科目である数的処理について、数理的思考力と共にその解法を学ぶ。	
授業目標	数理的思考力のトレーニングと解法の理解を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	数理推論演習	履修	必履修
担当講師	山蔭 さやか		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	60 単位時間		
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月	基本問題演習	
	8月	応用問題演習	
	9月	発展問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	公務員試験特有の試験科目である数的処理について、問題演習を通じて数理的思考力および解法の定着を図る。	
授業目標	数理的思考力と解法の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	文章研究	履修	必履修
担当講師	田村 芳昭		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	74		単位時間
授業計画	4月	論作文の書き方、論作文演習	
	5月	文章読解の基礎、読解基礎問題演習	
	6月	文章読解の発展、読解発展問題演習	
	7月	論作文演習、読解総合問題演習	
	8月	論作文演習、読解総合問題演習	
	9月	論作文演習、読解総合問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	論作文の基本的技術を身につけ、問題演習を通じて文章読解力を養う。		
授業目標	論作文の基本的技術と文章読解力の定着を目的とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	行政組織研究	履修	必履修
担当講師	三上 博久、田村 芳昭、山蔭 さやか		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	22		単位時間
授業計画	4月	国家行政組織研究	
	5月	地方行政組織研究	
	6月	公安系職種および組織研究	
	7月	希望進路に基づく自由研究	
	8月	希望進路に基づく自由研究	
	9月	希望進路に基づく自由研究	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	我が国の主な行政組織について、その組織概要や特色、人事制度などについて研究をして理解をする。また、学期後半には、これまでの研究を活かして、自己の進路希望に応じて自由研究を行う。		
授業目標	我が国の主な行政組織の理解と、自己の進路希望に基づく自由研究の達成を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次後期
科目名称	ビジネス文書 I・II	履修	必修
担当講師	三上 博久、田村 芳昭、山蔭 さやか		
担当講師の 実務経験の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	140 (I :112、II :28)		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	社会人の心構え、求められる資質	
	11月	社会常識	
	12月	ビジネスマナー、接遇一般	
	1月	ビジネスマナー、接遇一般	
	2月	ビジネス文書の定型文、資料やグラフの見方、演習	
	3月		
	授業概要	ビジネス文書作成知識を学ぶのみならず、社会常識や一般的なビジネスマナーや接遇マナーについて学習をする。	
授業目標	一般的なビジネスマナーや接遇マナーを身につけ、基本的なビジネス文書作成知識の習得を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次後期
科目名称	ビジネス講座	履修	必履修
担当講師	三上 博久、田村 芳昭、山蔭 さやか		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	112		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	度量衡の換算、純量対価の計算	
	11月	商品売買、試算表	
	12月	手数料、割引料の計算	
	1月	商品有高帳、その他商業計算	
	2月	伝票計算 計算問題演習	
	3月		
授業概要	ビジネス社会において最も重要な技能である経理知識・技術などについて学習をする。		
授業目標	基本的な経理知識・技術の習得を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次後期
科目名称	選択科目A・B	履修	選択必修
担当講師	各講座毎で担当講師が異なるため未記載		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	112 (A:56、B:56)		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	各選択科目で講義・演習	
	11月	各選択科目で講義・演習	
	12月	各選択科目で講義・演習	
	1月	各選択科目で講義・演習	
	2月	各選択科目で講義・演習	
	3月		
授業概要	選択科目A・B毎で1科目ずつ合計2科目を任意選択して学習をする。 毎年度で開講科目は異なるが、例として法律系選択科目・コンピュータ系選択科目、語学系選択科目、ビジネス系選択科目などで構成される。		
授業目標	各選択科目で学習する知識の習得や検定合格などを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	行政学科 (公務員大卒・既卒向コース)	開講時期	1年次後期
科目名称	コンピュータリテラシー	履修	必修
担当講師	佐々木 真弓		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	56		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	パソコンの基本操作、メールの使い方	
	11月	表計算ソフトの基本操作	
	12月	表計算ソフトの応用技能	
	1月	表計算ソフトを用いた基本文書作成	
	2月	表計算ソフトを用いた発展文書作成	
	3月		
	授業概要	一般的なコンピュータの操作および表計算ソフトの技能を学習する。	
授業目標	一般的なコンピュータの操作および表計算ソフトの技能の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

